ブログと「通信」の同時掲載

[197 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 740［廣松ノート II―（６）］
・廣松渉『マルクス主義の地平』勁草書房 1969(１)

[196 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 739［廣松ノート II―（５）］
・廣松渉『増補マルクス主義の成立過程』至誠堂 1984(下)

[195 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 738［廣松ノート II―（５）］
・廣松渉『増補マルクス主義の成立過程』至誠堂 1984(上)
たわしの読書メモ・・ブログ 737
・ヴィクトール・Ｅ・フランクル／池田香代子訳『夜と霧　新版』みすず書房 2002

[194 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 736［廣松ノート II―（４）］
・廣松渉『東欧激変と社会主義』実践社 1994
たわしの読書メモ・・ブログ 735［廣松ノート II―（３）］
・廣松渉『新左翼運動の射程』ユニテ 1981
たわしの読書メモ・・ブログ 734［廣松ノート II―（２）］
・廣松渉『現代革命論の模索』新泉社 1972

[193 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 733
・日野行介『原発避難計画の虚構　公文書が暴く冷酷な国家の真意』朝日新聞出版　2025
たわしの読書メモ・・ブログ 732
・竹信三恵子『増補版　賃金破壊　労働運動を「犯罪」にする国』旬報社 2025
たわしの読書メモ・・ブログ 731［廣松ノート II―（１）］

[192 号]

・廣松渉「マルクス・エンゲルス革命論の栞」(『読み直されるマルクス(廣松渉コレクション３)』情況出版 1995 所収)（廣松渉・片岡啓治編訳『マルクス・エンゲルスの革命論』紀伊國屋書店 1982 所収）

たわしの読書メモ・・ブログ 730
・カール・マルクス／望月清司訳『ゴータ綱領批判』岩波文庫（岩波書店）1975
たわしの読書メモ・・ブログ 729
・マルクス　エンゲルス／廣松渉編訳・小林昌人補訳『ドイツ・イデオロギー 新編輯版』岩波文庫（岩波書店）2002
たわしの読書メモ・・ブログ 728［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（20）

[191 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 727［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（19）

[190 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 726［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（18）

[189 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 725［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（17）
たわしの読書メモ・・ブログ 724
・マルクス　エンゲルス／大内兵衛・向坂逸郎訳『共産党宣言』岩波文庫（岩波書店）1951・1971 改訳
・マルクス＝エンゲルス／マルクス＝レーニン主義研究所訳『共産党宣言　共産主義の原理他一篇』国民文庫（大月書店）1952

[188 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 723［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（16）
[187 号]
たわしの読書メモ・・ブログ 722［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（15）
たわしの読書メモ・・ブログ 721［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（14）

[186 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 720［廣松ノート（８）］

・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（13）

[185 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 719［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（12）

[184 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 718［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（11）

[183 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 717［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（10）

[182 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 716［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（９）
たわしの読書メモ・・ブログ 715［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（８）

[181 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 714
・『情況　2025 年春号　特集　ニューウェイブ政党の挑戦状』情況出版 2025
たわしの読書メモ・・ブログ 713
・『情況 2020 年 1 月号　特集　ポピュリズムの時代』情況出版 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 712［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（７）

[180 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 708［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（６）

[179 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 707［廣松ノート（８）］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（５）

[178 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 706［廣松ノート（８)］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（４）

[177 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 706［廣松ノート（８)］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（３）

[176 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 707［廣松ノート（８)］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（2）
たわしの読書メモ・・ブログ 706［廣松ノート（８)］
・廣松渉『存在と意味２―事的世界観の定礎』岩波書店 1993（１）

[175 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 705［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（19）
たわしの読書メモ・・ブログ 704［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（18）

[174 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 703［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（17）

[173 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 702
・菅野完『日本会議の研究』扶桑社(扶桑社新書)2022
たわしの読書メモ・・ブログ 701［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（16）
たわしの読書メモ・・ブログ 700［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（15）
[172 号]
たわしの読書メモ・・ブログ 699［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（14）
たわしの読書メモ・・ブログ 698［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（13）
[171 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 697
・高田一宏『新自由主義と教育改革　大阪から問う』岩波書店（岩波新書）2024
たわしの読書メモ・・ブログ 696
・雨宮処凛『相模原・裁判傍聴記　「役に立ちたい」と「障害者ヘイトのあいだ」』太田出版 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 695［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（12）

[170 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 694［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（11）
たわしの読書メモ・・ブログ 693［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（10）

[169 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 692
・白井聡『武器としての「資本論」』東洋経済新報社 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 691［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（９）

[168 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 690［廣松ノート］（７）
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（８）
たわしの読書メモ・・ブログ 689
・松波めぐみ『「社会モデで考える」ためのレッスン――障害者差別解消法と合理的配慮の理解と活用のために』生活書院 2024
たわしの読書メモ・・ブログ 688
・竹内章郎『いのちと平等をめぐる 13 章――優生思想の克服のために』生活思想社 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 687［廣松ノート（７）

[167 号]

・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（７）
たわしの読書メモ・・ブログ 686
・白井聡『国体論　菊と星条旗』集英社（集英社新書）2018

[166 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 684［廣松ノート（７）］
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（６）

[165 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 684［廣松ノート（７）］
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（５）
たわしの読書メモ・・ブログ 683
・白井聡『永続敗戦論―戦後日本の核心』講談社（講談社＋α文庫）2016

[164 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 682［廣松ノート（７）］
・廣松渉『存在と意味１―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（４）
たわしの読書メモ・・ブログ 681
・内田聖子『デジタル・デモクラシー　ビックテックを包囲するグローバル市民社会』地平社　2024

[163 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 680［廣松ノート（７）］
・廣松渉『存在と意味 1―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（３）

[162 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 679［廣松ノート（７）］
・廣松渉『存在と意味 1―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（２）

[161 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 678［廣松ノート（７）］
・廣松渉『存在と意味 1―事的世界観の定礎』岩波書店 1982（１）

[160 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 677
・立岩真也『人命の特別を言わず／言う』筑摩書房 2022
たわしの読書メモ・・ブログ 676
・斎藤幸平『マルクス解体　プロメテウスの夢とその先』講談社 2023
たわしの読書メモ・・ブログ 675
・斎藤幸平・松本卓也編著『コモンの「自治」論』集英社 2023
たわしの読書メモ・・ブログ 674

・山本義隆『核燃サイクルという迷宮　核ナショナリズムがもたらしたもの』みすず書房 2024
たわしの読書メモ・・ブログ 673
・三上智恵『戦雲（いくさふむ）　要塞化する沖縄、島々の記録』集英社（集英社新書）2024
たわしの読書メモ・・ブログ 672
・『現代思想 2023 年 9 月号 追悼●立岩真也』青土社　2023
・『現代思想 2024 年 3 月臨時増刊号 総特集 立岩真也』青土社　202

[159 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 671［廣松ノート（６）］
・廣松渉『物象化論の構図』岩波書店 1983（５）

[158 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 670［廣松ノート（６）］
・廣松渉『物象化論の構図』岩波書店 1983（４）

[157 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 669［廣松ノート（６）］
・廣松渉『物象化論の構図』岩波書店 1983（３）

[156 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 668［廣松ノート（６）］
・廣松渉『物象化論の構図』岩波書店 1983（２）

[155 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 667［廣松ノート（６）］
・廣松渉『物象化論の構図』岩波書店 1983（１）

[154 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 666
・白井聡『未完のレーニン　<力>の思想を読む』講談社（講談社学術文庫）2021
たわしの読書メモ・・ブログ 665［廣松ノート（５）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（９）

[153 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 664［廣松ノート（５）］

・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（8）

[152 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 663［廣松ノート（5）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（7）

[151 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 662
・白井聡『今を生きる思想　マルクス　生を呑み込む資本主義』講談社(講談社現代新書) 2021
たわしの読書メモ・・ブログ 661［廣松ノート（5）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（6）

[150 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 660［廣松ノート（5）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（5）
たわしの読書メモ・・ブログ 659
・小林美穂子『家なき人のとなりで見る社会』岩波書店　2023

[149 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 658［廣松ノート（5）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（4）

[148 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 657
・青木美希『なぜ日本は原発を止められないのか？』文藝春秋 2023
たわしの読書メモ・・ブログ 656［廣松ノート（5）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（3）

[147 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 655［廣松ノート（5）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（2）

[146 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 654［廣松ノート（5）］
・廣松渉『弁証法の論理　弁証法における体系構成法』青土社 1980（1）

[145 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 653
・小出裕章／西尾正道『被ばく列島　放射線医療と原子炉』KADOKAWA 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 652［廣松ノート（４）］
・廣松渉『もの・こと・ことば』勁草書房 1979（６）

[144 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 651［廣松ノート（４）］
・廣松渉『もの・こと・ことば』勁草書房 1979（５）

[143 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 650［廣松ノート（４）］
・廣松渉『もの・こと・ことば』勁草書房 1979（４）

[142 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 649
・西尾正道『被曝インフォデミック　トリチウム、内部被曝－ICRP によるエセ科学の拡散』寿郎社 2021
たわしの読書メモ・・ブログ 648［廣松ノート（４）］
・廣松渉『もの・こと・ことば』勁草書房 1979（３）

[141 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 647［廣松ノート（４）］
・廣松渉『もの・こと・ことば』勁草書房 1979（２）
たわしの読書メモ・・ブログ 646［廣松ノート（４）］
・廣松渉『もの・こと・ことば』勁草書房 1979（１）

[140 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 645
・内海健『金閣を焼かなければならぬ――林養賢と三島由紀夫――』河出書房新社 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 644［廣松ノート（３）］
・廣松渉『事的世界観への前哨　物象化論の認識論的≈存在論的位相』勁草書房 1975（５）
たわしの読書メモ・・ブログ 643
・斎藤幸平『ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた』KADOKAWA2022
たわしの読書メモ・・ブログ 642

・市川沙央『ハンチバック』文藝春秋社 2023
たわしの読書メモ・・ブログ 641
・安田菜津紀『国籍と遺書、兄への手紙　ルーツを巡る旅の先に』ヘウレーカ 2023
たわしの読書メモ・・ブログ 640
・小山美砂『「黒い雨」訴訟』集英社(集英社新書)2022

[139 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 639［廣松ノート（３)］
・廣松渉『事的世界観への前哨　物象化論の認識論的≈存在論的位相』勁草書房 1975（４）
たわしの読書メモ・・ブログ 638［廣松ノート（３)］
・廣松渉『事的世界観への前哨　物象化論の認識論的≈存在論的位相』勁草書房 1975（３）

[138 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 635［廣松ノート（３)］
・廣松渉『事的世界観への前哨　物象化論の認識論的≈存在論的位相』勁草書房 1975（１）

[137 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 634
・斎藤幸平『大洪水の前に　マルクスと惑星の物質代謝』KADOKAWA（角川文庫ソフィア）2022

[136 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 633
・李琴峰『ポラリスが降り注ぐ夜』筑摩書房（ちくま文庫）2022
たわしの読書メモ・・ブログ 632［廣松ノート（２)］
・廣松渉『世界の共同主観的存在構造』勁草書房 1972（７）
たわしの読書メモ・・ブログ 631
・『季節　2023 年春号』鹿砦社　2023
たわしの読書メモ・・ブログ 630
・佐藤敏明『今度こそわかる微分積分』ナツメ社　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 629
・たくみ『難しい数式はまったくわかりませんが、微分積分を教えてください！』ＳＢクリエイティブ　2019

[135 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 628

・真鍋淑郎・アンソニー・Ｊ・ブロッコリー／増田耕一・安倍彩子監訳・宮本寿代訳『地球温暖化はなぜ起こるのか　気候モデルで探る　過去・現在・未来の地球』講談社（ブルーバックス）2022
たわしの読書メモ・・ブログ 627
・広瀬隆『地球温暖化説はＳＦ小説だった――その驚くべき実態』八月書館　2020
たわしの読書メモ・・ブログ 626
・マーク・モラノ／渡辺正訳『「地球温暖化」の不都合な真実』日本評論社 2019
たわしの読書メモ・・ブログ 625
・船瀬俊介『温暖化の衝撃』三一書房 1997

[134 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 624［廣松ノート（２）］
・廣松渉『世界の共同主観的存在構造』勁草書房 1972（６）

[133 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 623
・岸本聡子『地域主権という希望――欧州から杉並へ、恐れぬ自治体の挑戦』大月書店 2023
たわしの読書メモ・・ブログ 622
・岸本聡子『私がつかんだコモンと民主主義－－日本人女性移民、ヨーロッパのＮＧＯで働く』晶文社　2022
たわしの読書メモ・・ブログ 621
・岸本聡子『水道、再び公営化！　欧州・水の闘いから日本が学ぶこと』集英社（集英社新書）2020
たわしの読書メモ・・ブログ 620
・斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』ＮＨＫ出版（ＮＨＫ出版新書）2023

[132 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 619［廣松ノート（２）］
・廣松渉『世界の共同主観的存在構造』勁草書房 1972（５）
たわしの読書メモ・・ブログ 618
・斎藤貴男『増補　空疎な小皇帝　「石原慎太郎」という問題』岩波書店（岩波現代文庫）2023

[131 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 617
・クラウス・コルドン／酒寄進一訳『ベルリン 1945　はじめての春　上・下』岩波書店(岩

波少年文庫)2020
たわしの読書メモ・・ブログ 616
・クラウス・コルドン／酒寄進一訳『ベルリン 1933 壁を背にして　上・下』岩波書店(岩波少年文庫)2020
たわしの読書メモ・・ブログ 615
・クラウス・コルドン／酒寄進一訳『ベルリン 1919 赤い水兵　上・下』岩波書店(岩波少年文庫)2020
たわしの読書メモ・・ブログ 614［廣松ノート（２)］
・廣松渉『世界の共同主観的存在構造』勁草書房 1972（４）

[130 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 613
・スタインベルグ／蒼野和人・久坂翠訳『左翼エス・エル戦闘史』鹿砦社 1970
たわしの読書メモ・・ブログ 612
・高見元博『重度精神障害を生きる――精神障害とは何だったのか　僕のケースで考える』批評社 2023

[129 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 611［廣松ノート（２)］
・廣松渉『世界の共同主観的存在構造』勁草書房 1972（３）

[128 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 610
・山口定『ファシズム』岩波書店（岩波現代文庫）2006
たわしの読書メモ・・ブログ 609
・スターリン『レーニン主義の基礎』彰考書院 1946

[127 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 608［廣松ノート（２)］
・廣松渉『世界の共同主観的存在構造』勁草書房 1972（２）

[126 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 607［廣松ノート（２)］
・廣松渉『世界の共同主観的存在構造』勁草書房 1972（１）

[125 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 606
・冨田宏治『維新政治の本質　組織化されたポピュリズムの虚像と実像』あけび書房　2022
たわしの読書メモ・・ブログ 605
・アドルフ・ヒトラー／平野一郎・将積茂訳『わが闘争(上)―民族主義的世界観』『わが闘争(下)―国家社会主義運動』角川書店(角川文庫) 1973
たわしの読書メモ・・ブログ 604
・森村誠一『新版 悪魔の飽食―日本細菌戦部隊の恐怖の実像!』角川書店(角川文庫) 1983
『悪魔の飽食―第七三一部隊の戦慄の全貌! (続)』角川書店(角川文庫)1983
『悪魔の飽食（第 3 部)』角川書店(角川文庫)1985

[124 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 603
・『情況　2022 年冬　特集　連合赤軍 半世紀後の総括』情況出版 2022
たわしの読書メモ・・ブログ 581
・中原一『中原一著作集　１～３』　編集委員会　1978
たわしの読書メモ・・ブログ 579
・滝口弘人『滝口弘人著作集１～３』　編集委員会　2000
たわしの読書メモ・・ブログ 576
・岩井哲『“私の”東大闘争――駒場解放派の光と影』柘植書房新社 2019

[123 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 602
・ハンナ・アレント『人間の条件』筑摩書房（ちくま学芸文庫）1994
たわしの読書メモ・・ブログ 601
・牧野雅彦「アレントとマルクス（前）」（『思想　2022 年第 3 号（1175）』岩波書店　2022 所収）「アレントとマルクス（後）」（『思想　2022 年第 4 号（1176）　特集　<共生>の思想』岩波書店　2022 所収）
たわしの読書メモ・・ブログ 600［廣松ノート（１）］
・廣松渉『唯物史観の原像』三一書房（三一新書）1971

[122 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 599
・立岩真也『介助の仕事―街で暮らす／を支える』筑摩書房（ちくま新書）2021
たわしの読書メモ・・ブログ 598
・辰己一輝「2000 年代以後の障害学における理論的展開／転回――「 言葉」と「物」、あるいは「理論」と「実践」の狭間で――」（『共生学ジャーナル』 5　2020 所収）

たわしの読書メモ・・ブログ 597
・三好春樹『関係障害論』雲母書房 1997
たわしの読書メモ・・ブログ 596
・辰己一輝「「社会モデル」以後の現代障害学における「新たな関係の理論」の探究」(『思想　2022 年第四号（1176）　特集　<共生>の思想』岩波書店　2022 所収）

[121 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 595
・山本義隆『福島の原発事故をめぐって―― いくつか学び考えたこと』みすず書房 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 594
・『科学　第 92 巻第 4 号（通 1076）特集　原発事故と小児甲状腺がん』岩波書店 2022

[120 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 593
・カール・マルクス／山村喬訳『哲学の貧困』岩波文庫（岩波書店）1950
たわしの読書メモ・・ブログ 592
・カール・マルクス／城塚登訳『ユダヤ人問題によせて ヘーゲル法哲学批判序説』岩波文庫（岩波書店）1974

[119 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 591
・マルクス／木下半治訳『フランスの内乱』岩波文庫（岩波書店）1952

[118 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 590
・マルクス／中原稔生訳『フランスにおける階級闘争』国民文庫（大月書店）1960
たわしの読書メモ・・ブログ 589
・マルクス／伊藤新一・北条元一訳『ルイ・ボナパルトのブリュメール十八日』岩波文庫（岩波書店）1954

[117 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 588
・ハナ・アーレント『全体主義の起原 3　――全体主義』みすず書房 1974
たわしの読書メモ・・ブログ 587
・ハナ・アーレント『全体主義の起原 2　――帝国主義』みすず書房 1972
たわしの読書メモ・・ブログ 586

・ハナ・アーレント『全体主義の起原 1 ――反ユダヤ主義』みすず書房 1972

[116 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 585
・マルクス エンゲルス／大内兵衛 向坂逸郎訳『共産党宣言』岩波文庫（岩波書店）1951
たわしの読書メモ・・ブログ 584
・白崎朝子『Ｐａｓｓｉｏｎ　ケアという「しごと」』現代書館 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 583
・カール・マルクス「論文『プロイセン国王と社会変革――プロイセン人』(『フォルヴェルツ！』第六〇号）にたいする批判的論評」1844（『マルクス＝エンゲルス全集　第 1 巻』大月書店 1959 所収）
たわしの読書メモ・・ブログ 582
・ブレイディみかこ・松尾匡・北田暁大『そろそろ左派は<経済>を語ろう　レフト 3.0 の政治経済学』亜紀書房 2018

[115 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 580
・平井潔／古沢友吉『解放史上の三女性　マルクス夫人・ローザ・ルクセンブルク・レーニン夫人』東洋経済新報社　1956
たわしの読書メモ・・ブログ 578
・ローザ・ルクセンブルク／伊藤成彦訳『友への手紙』論創社 1991
たわしの読書メモ・・ブログ 577
・ローザ・ルクセンブルク／伊藤成彦・丸山敬一訳『ロシア革命論』論創社 1985

[114 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 575
・ナオミ・クライン『貧困と不正を生む資本主義を潰せ　企業によるグローバル化の悪を糾弾する人々の記録』はまの出版 2003
たわしの読書メモ・・ブログ 574
・椎名重明『農学の思想―マルクスとリービヒ』東京大学出版会 1976

[113 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 573
・斎藤幸平『人新世の「資本論」』集英社（集英社新書）2020
たわしの読書メモ・・ブログ 572
・吉留 昭弘「『アリランの歌』再考」(『反戦情報』所収)2020-1

たわしの読書メモ・・ブログ 571
・上野千鶴子『女ぎらい――ニッポンのミソジニー』紀伊國屋書店 2010

[112 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 570
・ナオミ・クライン／幾島幸子・荒井雅子訳『これがすべてを変える――資本主義 vs.気候変動　上・下』岩波書店 2017
たわしの読書メモ・・ブログ 569
・小松美彦・市野川容孝・堀江宗正編著『<反延命>主義の時代――安楽死・透析中止・トリアージ』現代書館 2021
たわしの読書メモ・・ブログ 568
・青木美希『いないことにされる私たち―福島第一原発事故 10 年目の「言ってはいけない真実」』朝日新聞出版 2021

[111 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 567
・天笠啓祐『ゲノム操作と人権　新たな優生学の時代を迎えて』解放出版社 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 566
・天笠啓祐『ゲノム操作・遺伝子組み換え食品入門（プロブレム Q&A)』緑風出版 2019
たわしの読書メモ・・ブログ 565
・天笠啓祐『遺伝子組み換え食品』緑風出版 1996
たわしの読書メモ・・ブログ 564
・天笠啓祐『生物多様性と食・農』緑風出版 2009

[110 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 563
・内海聡『医師が教える新型コロナワクチンの正体　本当は怖くない新型コロナフィルスと本当に怖い新型コロナワクチン』ユサブル 2021
たわしの読書メモ・・ブログ 562
・天笠啓祐『新型コロナワクチン―その実像と問題点』緑風出版 2021
たわしの読書メモ・・ブログ 561
・白井　朗『マルクス主義と民族理論―社会主義の挫折と再生』社会評論社　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 560
・小坂井 敏晶『増補　民族という虚構』筑摩書房(ちくま学芸文庫)　2011

[109 号]

たわしの読書メモ・・ブログ559
・ラーヤ・ドゥナエフスカヤ／三浦 正夫・対馬 忠行訳『疎外と革命―マルクス主義の再建』現代思潮社　1964
たわしの読書メモ・・ブログ558
・K・コルシュ／木村 靖二・山本 秀行訳『レーテ運動と過渡期社会』社会評論社　1971

[108号]

たわしの読書メモ・・ブログ557
・フランコ ベラルディ(ビフォ)／廣瀬 純・北川 眞也訳『NO FUTURE―イタリア・アウトノミア運動史』洛北出版　2010
たわしの読書メモ・・ブログ556
・グラムシ／山崎功監修・代久二(１・２・３)編集・藤沢道郎(４・５・６)編集『グラムシ選集　第１～６巻』合同出版社　1961～1965

[107号]

たわしの読書メモ・・ブログ555
・ローザ・ルクセンブルク／伊藤成彦・米川一夫・阪東宏訳『ローザ・ルクセンブルク ヨギヘスへの手紙 第１～４巻』河出書房新社 1976-77

[106号]

たわしの読書メモ・・ブログ554
・田村雲供／生田あい編著『女たちのローザ・ルクセンブルク―フェミニズムと社会主義』社会評論社 1994

[105号]

たわしの読書メモ・・ブログ553
・加藤一夫『アポリアとしての民族問題―ローザ・ルクセンブルクとインターナショナリズム』社会評論社 1991

[104号]

たわしの読書メモ・・ブログ552
・ローザ・ルクセンブルグ／加藤一夫・川名隆史訳『民族問題と自治』論創社 1984

[103号]

たわしの読書メモ・・ブログ551
・ローザ・ルクセンブルグ／長谷部文雄訳『資本蓄積再論』岩波書店（岩波文庫）1935

たわしの読書メモ・・ブログ 550
・ローザ・ルクセンブルグ／長谷部文雄訳『資本蓄積論　上・中・下巻』岩波書店（岩波文庫）1934

[102 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 549
・ローザ・ルクセンブルク／岡崎次郎・時永淑訳『経済学入門』岩波書店（岩波文庫）1978
たわしの読書メモ・・ブログ 548
・ローザ・ルクセンブルク／肥前栄一訳『ポーランドの産業的発展』未來社 1970
たわしの読書メモ・・ブログ 547
・Ｊ．Ｐ．ネットル／諫山正・川崎賢・宮島直機・湯浅赳男・米川紀夫訳『ローザ・ルクセンブルク　上・下』河出書房新社 1974-5

[101 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 546
・トニー・クリフ／浜田泰三・西田勲訳『ローザ・ルクセンブルク』現代思潮社 1968
たわしの読書メモ・・ブログ 545
・パウル・フレーリヒ／伊藤成彦訳『ローザ・ルクセンブルク その思想と生涯』東邦出版社 1974

[100 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 544
・ローザ・ルクセンブルク／田窪清秀・高原宏平・野村修・救仁郷繁・清水幾太郎訳『ローザ・ルクセンブルク選集　第 4 巻（一九一六――一九一九)』現代思潮社 1970

[99 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 543
・ローザ・ルクセンブルク／高原宏平・野村修・田窪清秀・片岡啓治訳『ローザ・ルクセンブルク選集　第 3 巻（一九一一――一九一六)』現代思潮社 1969

[98 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 542
・ローザ・ルクセンブルク／高原宏平・田窪清秀・野村修。河野信子・谷川雁訳『ローザ・ルクセンブルク選集　第 2 巻（一九〇五――一九一一)』現代思潮社 1969

[97 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 541
・榊原賢二郎編著『障害社会学という視座―社会モデルから社会学的反省へ』新曜社 2019

[96 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 540
・ローザ・ルクセンブルク／野村修・田窪清秀・高原宏平・喜安朗・片岡啓治訳『ローザ・ルクセンブルク選集　第 1 巻（一八九三―一九〇四)』現代思潮社 1969
たわしの読書メモ・・ブログ 539
・ローザ・ルクセンブルク／秋元寿恵夫訳『ローザ・ルクセンブルク 獄中からの手紙』岩波書店(岩波文庫)1982
たわしの読書メモ・・ブログ 538
・ローザ・ルクセンブルク／川口浩・松井圭子訳『ローザ・ルクセンブルクの手紙』岩波書店(岩波文庫)1932
たわしの読書メモ・・ブログ 537
・大矢英代『沖縄「戦争マラリア」――強制疎開死 3600 人の真相に迫る』あけび書房 2020
たわしの読書メモ・・ブログ 536
・三上智恵『証言　沖縄スパイ戦史』集英社（集英社新書）2020

[95 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 535
・伊藤亜紗『記憶する体』春秋社 2019
たわしの読書メモ・・ブログ 534
・伊藤亜紗『目の見えない人は世界をどう見ているのか』光文社(光文社新書)2015
たわしの読書メモ・・ブログ 533
・伊藤亜紗『どもる体（シリーズ ケアをひらく)』医学書院 2018
たわしの読書メモ・・ブログ 532
・青木美希『地図から消される街 3.11 後の「言ってはいけない真実」』講談社(講談社現代新書)世界書院 2018

[94 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 531
・張一兵『レーニンへ帰れ―『哲学ノート』のポストテクストロジー的解読』世界書院 2016

[93 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 530
・レーニン『哲学ノート　上・下』岩波書店（岩波文庫）1975

[92 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 529
・廣松渉『廣松渉著作集 3 「科学哲学」』岩波書店　1997
たわしの読書メモ・・ブログ 528
・レーニン「唯物論と経験批判論」（『レーニン 10 巻選集 別巻 2―レーニン生誕 100 年記念』大月書店 1966 所収）

[91 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 527
・『季刊 福祉労働 165 号 特集:意思ってなんだろう――つながりから生まれる経験知へ』現代書館　2019

[90 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 526
・レーニン「国家と革命」（『世界の名著〈第 52〉レーニン 』』中央公論社 1966 所収）
たわしの読書メモ・・ブログ 525
・レーニン「資本主義の最高段階としての帝国主義」（『世界の名著〈第 52〉レーニン 』』中央公論社 1966 所収）

[89 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 524
・イマニュエル・ウォーラーステイン他/若森章孝他訳『資本主義に未来はあるか――歴史社会学からのアプローチ』唯学書房 2019

[88 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 523
・A.R.ホックシールド/布施 由紀子訳『壁の向こうの住人たち――アメリカの右派を覆う怒りと嘆き』岩波書店 2018
たわしの読書メモ・・ブログ 522
・『情況 2019 年 07 月号 [雑誌]特集　政治とは経済なのである』情況出版 2019
たわしの読書メモ・・ブログ 521
・小松美彦『対論 人は死んではならない』春秋社 2002

[87 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 520

・小松美彦『「自己決定権」という罠』言視社 2018
たわしの読書メモ・・ブログ519
・利光恵子／松原洋子監修『戦後日本における女性障害者への強制的不妊手術』立命館大学生存学研究センター 2016
たわしの読書メモ・・ブログ518
・利光恵子『受精卵診断と出生前診断―その導入をめぐる争いの現代史』生活書院 2012
たわしの読書メモ・・ブログ517
・天笠啓祐『ゲノム操作食品の争点』緑風出版 2017
たわしの読書メモ・・ブログ516
・粥川準二『バイオ化する社会　「核時代」の生命と身体』青土社 2012

[86号]

たわしの読書メモ・・ブログ515
・『季刊 福祉労働 164号 特集:介護する/される関係を問いなおす 暴力・パワハラ・セクハラ』現代書館　2019
たわしの読書メモ・・ブログ514
・『季刊 福祉労働 163 号 特集:障害者権利条約・パラレルレポートの重要論点』現代書館 2019

[85号]

たわしの読書メモ・・ブログ513
・山内明編『ドキュメント現代史〈7〉スペイン革命』平凡社 1973
たわしの読書メモ・・ブログ512
・H.ルフェーヴル『パリ・コミューン〈上〉〈下〉』岩波書店 1967 1968
たわしの読書メモ・・ブログ511
・野村修編『ドキュメント現代史〈2〉ドイツ革命』平凡社 1972

[84号]

たわしの読書メモ・・ブログ510
・吉留 昭弘『陳独秀と中国革命史の再検討』社会評論社 2019
たわしの読書メモ・・ブログ509
・トロツキー／対馬忠行訳『トロツキー選集〈第4〉レーニン死後の第三インターナショナル 』現代思潮社 1961

[83号]

たわしの読書メモ・・ブログ508

・トロツキー／森田成也・志田昇訳『トロツキーわが生涯〈上〉〈下〉』岩波書店(岩波文庫) 2000 2001
たわしの読書メモ・・ブログ 507
・トロツキー／森田成也訳『永続革命論』光文社(光文社古典新訳文庫) 2008
たわしの読書メモ・・ブログ 506
・トロツキー／対馬忠行・榊原彰治訳『1905 年革命・結果と展望』現代思潮社 1975
たわしの読書メモ・・ブログ 505
・トロツキー／藤井一行・左近毅訳『われわれの政治的課題―戦術上及び組織上の諸問題』大村書店 1990

[82 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 504
・R.ダニエルズ／国際社会主義運動研究会訳『ロシア共産党党内闘争史』現代思潮社 1975
たわしの読書メモ・・ブログ 503
・トロツキー／藤井一行訳『裏切られた革命』岩波書店(岩波文庫) 1992
たわしの読書メモ・・ブログ 502
・トロツキー／藤井一行訳『ロシア革命史<1>～<5>』岩波書店(岩波文庫) 2000・2001

[81 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 501
・打波文子『知的障害のある人たちと「ことば」――「わかりやすさ」と情報保障・合理的配慮』生活書院 2018
たわしの読書メモ・・ブログ 500
・熊野純彦「解説―揺れ動く時代のなかで－廣松哲学の背景をめぐって」（熊野純彦編『廣松哲学論集』平凡社 2009）
たわしの読書メモ・・ブログ 499
・ジョン・リード／原光雄『世界をゆるがした十日間〈上〉〈下〉（岩波文庫)』岩波書店　1957
たわしの読書メモ・・ブログ 498
・森川聖詩『核なき未来へ: 被爆二世からのメッセージ』現代書館　2018
たわしの読書メモ・・ブログ 497
・和田春樹『ロシア革命――ペトログラード 1917 年２月』作品社　2018

[80 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 496
・『季刊 福祉労働 162 号 特集:早期発見・早期療育の現在―発達障害の広がりの中で』現代書館　2019

たわしの読書メモ・・ブログ 495
・『障害学研究 14』明石書店 2017
たわしの読書メモ・・ブログ 494
・『障害学研究 13』明石書店 2018

[79 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 493
・『障害学研究 12』明石書店 2017
たわしの読書メモ・・ブログ 492
・『障害学研究 11』明石書店 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 491
・長尾　久『ロシア十月革命　亜紀現代史厳書 5』亜紀書房　1972
たわしの読書メモ・・ブログ 490
・『障害学研究 10』明石書店 2014

[78 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 489
・立岩真也『病者障害者の戦後―生政治史点描』青土社　2018
たわしの読書メモ・・ブログ 488
・立岩真也「書評　榊原賢二郎『社会的包摂と身体―障害者差別禁止法制後の障害定義と異別処遇を巡って』」
・榊原賢二郎「リプライ『社会的包摂と身体』の論理―立岩真也氏の書評への応答」
(『障害学研究 14』明石書店　2018 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 487
・榊原賢二郎『社会的包摂と身体―障害者差別禁止法制後の障害定義と異別処遇を巡って』生活書院　2016
たわしの読書メモ・・ブログ 486
・立岩真也『不如意の身体 ―病障害とある社会―』青土社　2019

[77 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 485
・『季刊 福祉労働 161 号 特集:「感動ポルノ」――障害者は健常者に感動を与える存在』現代書館　2018
たわしの読書メモ・・ブログ 484
・『季刊 福祉労働 160 号 特集:地域で暮らす足場としての住まいの問題』現代書館　2018

[76 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 483
・『季刊福祉労働 159 号 特集:トリプル報酬改定から社会保障の今後を読む』現代書館 2018
たわしの読書メモ・・ブログ 482
・『季刊福祉労働 158 号 特集:学校における合理的配慮と親の付き添い問題』現代書館 2018
たわしの読書メモ・・ブログ 481
・『季刊福祉労働 157 号 特集:障害者差別解消法・権利条約から障害者の暮らしを見直す』現代書館　2017

[75 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 480
・草の根ろうあ者こんだん会編／稲葉通太監修『知っていますか?聴覚障害者の暮らし一問一答』解放出版社　1998
たわしの読書メモ・・ブログ 479
・日本手話研究所編『手話・言語・コミュニケーション No.6 特集:手話の歴史 2』文理閣 2018
たわしの読書メモ・・ブログ 478
・日本手話研究所編『手話・言語・コミュニケーション No.5 特集:手話の歴史』文理閣　2018
たわしの読書メモ・・ブログ 477
・久松三二「(書評)『手話を言語というのなら』を読んで」(日本手話研究所編『手話・言語・コミュニケーション№5』文理閣　2018 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 476
・久松三二「手話言語法とろう教育～「手話」から「手話言語」の時代に～」(ろう教育の明日を考える連絡協議会編『ろう教育の“明日”』 No.74　2016.12 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 475
・関西手話カレッジ編『ろう者のトリセツ聴者のトリセツ―ろう者と聴者の言葉のズレ』星湖舎　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 474
・小嶋栄子／石川芳郎『手話通訳者のための言語学と人権（手話を学ぶ人たちの学習室 全通研学校講義集 4)』文理閣　2008

[74 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 473
・全国ろう児をもつ親の会編『ぼくたちの言葉を奪わないで!―ろう児の人権宣言』明石書店　2003

たわしの読書メモ・・ブログ 472
・トータルコミュニケーション研究会編『北欧のろう教育から学ぶ-バイリンガル幼児教育から成人教育まで-』トータルコミュニケーション研究会　2001
たわしの読書メモ・・ブログ 471
・ウェンディ・ルイス『デンマークのバイリンガル教育-あるプロジェクトの記録-』ろう教育の明日を考える連絡協議会　2000
たわしの読書メモ・・ブログ 470
・トータルコミュニケーション研究会編『北欧のバイリンガル教育の理論と実践-スウェーデン・デンマークを視察して-』トータルコミュニケーション研究会　2000
たわしの読書メモ・・ブログ 469
・「新しい聴覚障害者像を求めて」編集委員会『新しい聴覚障害者像を求めて』財団法人全日本聾唖連盟出版局　1991
たわしの読書メモ・・ブログ 468
・ハーラン・レイン／斉藤渡訳・前田浩監訳『手話の歴史 上 下（ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで)』築地書房　2018
たわしの読書メモ・・ブログ 467
・川渕依子『高橋潔と大阪市立聾唖学校　手話を守り抜いた教育者たち』サンライズ出版 2014

[73 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 466
・脇中起余子『聴覚障害教育 これまでとこれから:コミュニケーション論争・9 歳の壁・障害認識を中心に』北大路書房　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 465
・日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク聴覚障害学生支援システム構築運営マニュアル作成事業グループ／金澤貴之・大杉豊編『一歩進んだ聴覚障害学生支援―組織で支える』生活書院　2010
たわしの読書メモ・・ブログ 464
・『聴覚障害者への合理的配慮とは？』編集チーム編『よくわかる！聴覚障害者への合理的配慮とは？―『障害者差別解消法』と『改正障害者雇用促進法』から考える』全日本ろうあ連盟　2016
たわしの読書メモ・・ブログ 463
・全国手話通訳問題研究会宮城県支部／田門浩監修『手話と法律・裁判ハンドブック』生活書院　2008
たわしの読書メモ・・ブログ 462
・伊東雋祐『動くことば みることば―手話からの提言』文理閣　1991

たわしの読書メモ・・ブログ461
・ひらのりょうこ『魅せられて―伊東雋祐の手話人生』かもがわ出版　1988
たわしの読書メモ・・ブログ460
・林智樹／日本手話通訳士協会監修『手話通訳を学ぶ人の「手話通訳学」入門』クリエイツかもがわ　2010
たわしの読書メモ・・ブログ459
・全国手話通訳問題研究会編／石野富志三郎監修『新・手話通訳がわかる本』中央法規出版　2010
たわしの読書メモ・・ブログ458
・植村英晴訳著『世界の手話通訳』全日ろうあ連盟　1987

[72号]

たわしの読書メモ・・ブログ457
・渋谷智子『コーダの世界―手話の文化と声の文化」の内側から』医学書院　2009
たわしの読書メモ・・ブログ456
・キャロル・パッデン／トム・ハンフリーズ『「ろう文化」の内側から』明石書店　2009
たわしの読書メモ・・ブログ455
・キャロル・パッデン／トム・ハンフリーズ『「ろう文化」案内』晶文社　2003

[71号]

たわしの読書メモ・・ブログ454
・高田英一『手話の森を歩く―言語としての手話 その秘密をさぐる（手話コミュニケーション双書)』全日本ろうあ連盟出版局　2003
たわしの読書メモ・・ブログ453
・高田英一『手話教育今こそ！―障害者権利条約から読み解く』星湖社　2012
たわしの読書メモ・・ブログ452
・松岡和美『日本手話で学ぶ 手話言語学の基礎』くろしお出版　2015
たわしの読書メモ・・ブログ451
・岡典栄／赤堀仁美『文法が基礎からわかる　日本手話のしくみ』大修館書店　2011
たわしの読書メモ・・ブログ450
・木村晴美『ろう者が見る夢―続々・日本手話とろう文化』生活書院　2012
たわしの読書メモ・・ブログ449
・木村晴美『日本手話と日本語対応手話(手指日本語)―間にある「深い谷」』生活書院　2011
たわしの読書メモ・・ブログ448
・森壮也／佐々木倫子編『手話を言語と言うのなら』ひつじ書房　2016
たわしの読書メモ・・ブログ447

・張一兵『マルクスへ帰れ―経済学的コンテキストにおける哲学的言説』情況出版 2013

[70 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 446
・渡辺恭彦『廣松渉の思想』みすず書房 2018
たわしの読書メモ・・ブログ 445
・林望『習近平の中国――百年の夢と現実（岩波新書)』岩波書店 2017
たわしの読書メモ・・ブログ 444
・『別冊経済セミナー　マルクス死後 100 年』日本評論社 1983
たわしの読書メモ・・ブログ 443
・平田清明／山之内靖／廣松渉「[討論] マルクスは何を提起したのか」(『別冊経済セミナー　マルクス死後 100 年』日本評論社 1983　所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 442
・大川正彦『マルクス―いま、コミュニズムを生きるとは?(シリーズ・哲学のエッセンス)』日本放送出版協会　2004
たわしの読書メモ・・ブログ 441
・日山紀彦『「抽象的人間労働論」の哲学―二一世紀・マルクス可能性の地平』お茶の水書房　2006
たわしの読書メモ・・ブログ 440
・高田英一『手話からみた言語の起源（手話の秘密シリーズ 1)』文理閣　2013
たわしの読書メモ・・ブログ 439
・小中 栄一（一般財団法人全日本ろうあ連盟副理事長）「「日本語と日本手話　― 相克の歴史と共生に向けて ―」に対して」2018

[69 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 438
・熊野純彦『マルクス資本論の哲学』岩波書店(岩波新書)　2018
たわしの読書メモ・・ブログ 437
・熊野純彦『マルクス 資本論の思考』せりか書房　2013
たわしの読書メモ・・ブログ 436
・カール・マルクス／資本論草稿集翻訳委員会訳『マルクス　資本論草稿集②』大月書店 1981
たわしの読書メモ・・ブログ 435
・カール・マルクス『経済学批判』「序言」岩波書店（岩波文庫）1956
たわしの読書メモ・・ブログ 434
・カール・マルクス／資本論草稿集翻訳委員会訳『マルクス　資本論草稿集①』大月書店

1981

[68 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 433
・レーニン『ロシアにおける資本主義の発展（上)(中)(下)』岩波書店(岩波文庫) 1978-81
たわしの読書メモ・・ブログ 432
・レーニン「ヴェ・イ・レーニンの最後の手紙と論文」(『レーニン 10 巻選集第 10 巻』大月書店 1971 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 431
・レーニン「共産主義内の「左翼主義」小児病」(『レーニン 10 巻選集第 9 巻』大月書店 1971 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 430
・レーニン「プロレタリア革命と背教者カウツキー」(『レーニン 10 巻選集第 9 巻』大月書店 1971 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 429
・レーニン「さしせまる破局、それとどうたたかうか」(『レーニン 10 巻選集第 7 巻』大月書店 1969 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 428
・レーニン「マルクス主義の戯画と「帝国主義的経済主義」について」（『世界の名著〈第 52〉レーニン)』中央公論社 1966 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 427
・レーニン「ユニウスの小冊子について」(『レーニン 10 巻選集第 6 巻』大月書店 1971 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 426
・レーニン「第二インターナショナルの崩壊」(『レーニン 10 巻選集第 6 巻』大月書店 1971 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 425
・レーニン「カール・マルクス(略伝とマルクス主義の解説)」(『レーニン 10 巻選集第 6 巻』大月書店 1971 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 424
・レーニン「貧農に訴える」（『世界の名著〈第 52〉レーニン)』中央公論社 1966 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 423
・江口朴郎「レーニンと現代の課題」（『世界の名著〈第 52〉レーニン)』中央公論社 1966 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 422
・レーニン「民主主義革命における社会民主党の二つの戦術」(『レーニン 10 巻選集第 3

巻』大月書店 1971 所収）
たわしの読書メモ・・ブログ 421
・レーニン「一歩前進二歩後退（わが党内の危機）」（『レーニン 10 巻選集第 2 巻』大月書店 1970 所収）
たわしの読書メモ・・ブログ 420
・木村晴美／市田泰弘『はじめての手話―初歩からやさしく学べる手話の本』日本文芸社 1995
たわしの読書メモ・・ブログ 419
・レーニン「なにをなすべきか？－われわれの運動の焦眉の諸問題－」（『レーニン 10 巻選集第 2 巻』大月書店 1970 所収）
たわしの読書メモ・・ブログ 418
・大原展郎「障害児教育に敵対する「理論」－「知能公害」呼号する渡部淳批判－」（『前衛』共産党 75.4 所収）
・大原展郎「障害児教育の攪乱者」（『前衛』共産党 77.12 所収）

[67 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 417
・佐々木隆治『カール・マルクス: 「資本主義」と闘った社会思想家』(ちくま新書)筑摩書房　2016
たわしの読書メモ・・ブログ 416
・10・8 山﨑博昭プロジェクト編『かつて 10・8 羽田闘争があった: 山﨑博昭追悼 50 周年記念〔寄稿篇〕』合同フォレスト　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 415
・『現代思想 2016 年 3 月号 特集=3・11 以後の社会運動』青土社　2016
たわしの読書メモ・・ブログ 414
・『情況 2017 年 10 月号 [雑誌]特集　ロシア革命 100 年 10・8 羽田闘争から 50 年』情況出版　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 413
・「生きてる！殺すな」編集委員会『生きている！ 殺すな―やまゆり園事件の起きる時代に生きる障害者たち』山吹書店　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 412
・野間易通『金曜官邸前抗議 ---デモの声が政治を変える』河出書房新社　2012
たわしの読書メモ・・ブログ 411
・『季刊福祉労働 156 号 特集:障害者の「働き方改革」』現代書館　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 410
・日山紀彦『廣松思想の地平: 「事的世界観」を読み解く』お茶の水書房　2016

[66 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 409
・大野更紗『困ってるひと』(ホプラ文庫)ポプラ社　2012
たわしの読書メモ・・ブログ 408
・佐藤幹夫『自閉症裁判 レッサーパンダ帽男の「罪と罰」』(朝日文庫)朝日新聞出版　2008
たわしの読書メモ・・ブログ 407
・『現代思想 2017 年 8 月号　特集＝「コミュ障」の時代』青土社　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 406
・『現代思想 2017 年 5 月号　特集＝障害者――思想と実践』青土社　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 405
・佐藤幹夫『十七歳の自閉症裁判――寝屋川事件の遺したもの』（岩波現代文庫）岩波書店 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 404
・高山文彦『生き抜け、その日のために ―長崎の被差別部落とキリシタン―』解放出版社 2016

[65 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 403
・女たちの現在を問う会編『全共闘からリブへ―銃後史ノート戦後篇〈8〉1968・1~1975・12 (銃後史ノート戦後篇 (8 68・1~75・12))』インパクト出版会　1996
たわしの読書メモ・・ブログ 402
・野崎泰伸『生を肯定する倫理へ―障害学の視点から』白澤社　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 401
・篠原睦治『関係の原像を描く―「障害」元学生との対話を重ねて』現代書館　2010
たわしの読書メモ・・ブログ 400
・『季刊福祉労働 155 号 特集:入所施設の現在-相模原障害者施設殺傷事件を受けて』現代書館　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 399
・『季刊福祉労働 154 号 特集・グローバリズムの中の教育改革―教育再生実行会議と学習指導要領改訂』現代書館　2017
たわしの読書メモ・・ブログ 398
・稲葉雅紀／山田真／立岩真也『流儀―アフリカと世界に向かい我が邦の来し方を振り返り今後を考える二つの対話』生活書院　2008
たわしの読書メモ・・ブログ 397
・立岩真也『人間の条件　　そんなものない』理論社　2010

たわしの読書メモ・・ブログ 396
・立岩真也『自閉症連続体の時代』みすず書房　2014
たわしの読書メモ・・ブログ 395
・立岩真也『精神病院体制の終わり -認知症の時代に-』青土社　2015
たわしの読書メモ・・ブログ 394
・立岩真也『造反有理 精神医療現代史へ』青土社　2013

[64 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 393
・荒井裕樹『差別されてる自覚はあるか: 横田弘と青い芝の会「行動綱領」』現代書館 2017
たわしの読書メモ・・ブログ 392
・横田弘／立岩真也／臼井正樹『われらは愛と正義を否定する――脳性マヒ者 横田弘と「青い芝」』生活書院 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 391
・田中耕一郎『英国「隔離に反対する身体障害者連盟(UPIAS)」の軌跡: 〈障害〉の社会モデルをめぐる「起源の物語」』現代書館 2017
たわしの読書メモ・・ブログ 390
・荒川智／越野和之『インクルーシブ教育の本質を探る』全国障害問題研究会出版部　2013
たわしの読書メモ・・ブログ 389
・丸山啓史／河合隆平／品川文雄『発達保障ってなに？』全国障害問題研究会出版部　2012
たわしの読書メモ・・ブログ 388
・立岩真也『税を直す』青土社　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 387
・立岩真也『差異と平等 障害とケア／有償と無償』青土社　2012

[63 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 386
・立岩真也／杉田俊介『相模原障害者殺傷事件 ―優生思想とヘイトクライム―』青土社 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 385
・『季刊福祉労働 152 号: 特集:今なぜ、成年後見制度利用促進か?』現代書館　2016
たわしの読書メモ・・ブログ 384
・『季刊 福祉労働 150 号: より早期からの多様な分離が進んでいる』現代書館　2016
たわしの読書メモ・・ブログ 383
・『季刊福祉労働 153 号: 特集:相模原・障害者施設殺傷事件-何が問われているのか』現代書館　2016

たわしの読書メモ・・でブログ 382
・立岩真也「「相模原障害者殺傷事件」補遺」(『現代思想 2017 年 1 月号 特集=トランプ以後の世界』青土社 2017
たわしの読書メモ・・でブログ 381
・『情況 2016 年 no.3―変革のための総合誌 特集:トランプ・ショック』情況出版 2016
たわしの読書メモ・・でブログ 380
・『現代思想 2017 年 1 月号 特集=トランプ以後の世界』青土社 2017

[62 号]

たわしの読書メモ・・でブログ 379
・中澤 誠／水谷和子／宇都宮健児『築地移転の闇をひらく 』大月書店 2016
たわしの読書メモ・・でブログ 378
・阿波根昌鴻『命こそ宝―沖縄反戦の心 』岩波書店(岩波新書)1992
たわしの読書メモ・・でブログ 377
・阿波根昌鴻『米軍と農民 』岩波書店(岩波新書)1973
たわしの読書メモ・・でブログ 376
・中野好夫／新崎盛輝『沖縄戦後史 』岩波書店(岩波新書)2005
たわしの読書メモ・・でブログ 375
・謝花直美『証言 沖縄「集団自決」―慶良間諸島で何が起きたか』岩波書店 (岩波新書)2008
たわしの読書メモ・・でブログ 374
・川満信一『沖縄発―復帰運動から 40 年 』世界書院(情況新書)2010
たわしの読書メモ・・でブログ 373
・新崎盛輝『沖縄現代史 新版 』岩波書店(岩波新書)2005
たわしの読書メモ・・でブログ 372
・石川文洋『フォト・ストーリー 沖縄の 70 年 』岩波書店(岩波新書)2015
たわしの読書メモ・・でブログ 371
・大田昌秀『沖縄のこころ―沖縄戦と私』岩波書店(岩波新書)1972
たわしの読書メモ・・ブログ 370
・大江健三郎『沖縄ノート』岩波書店(岩波新書)1970
たわしの読書メモ・・ブログ 369
・Ｅ．ゴッフマン／石黒毅『アサイラム―施設被収容者の日常世界（ゴッフマンの社会学３）』誠信書房 1984
たわしの読書メモ・・ブログ 368
・松井彰彦／川島聡／長瀬修編著者『障害を問い直す』東洋経済新報社 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 367
・マイケル・オリバー／ボブ・サーペイ／野中猛監訳『障害学にもとづくソーシャルワーク

―障害の社会モデル』金剛出版 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 366
・堀 正嗣監訳『ディスアビリティ現象の教育学―イギリス障害学からのアプローチ』現代書館 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 365
・『季刊福祉労働 151 特集:介護から社会が見えるー超少子高齢社会を描く』現代書館 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 364
・堀 正嗣編著『共生の障害学―排除と隔離を超えて―』明石書店 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 363
・橋本眞奈美『「社会モデル」による新たな障害者介助制度の構築―障害者のエンパワメントを実現するために』明石書店 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 362
・東俊裕「国連・障害者権利委員会へ提出される第一回政府報告（案）の分析と評価」(『福祉労働』149-152 現代書館 2015-2016 連載所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 361
・立岩真也「七・二六殺傷事件後に」(『現代思想 2016 年 9 月号　特集＝精神医療の新時代　オープンダイアローグ・ＡＣＴ・当事者研究…』青土社 2016 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 360
・『季刊福祉労働 119―障害者・保育・教育の総合誌 特集:介護労働の諸相』現代書館　2008 [61 号]
たわしの読書メモ・・ブログ 359
・『現代思想 2016 年 10 月号　緊急特集＝相模原障害者殺傷事件』青土社 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 358
・笠井潔×野間易通『３．11 後の叛乱　反原連・しばき隊・ＳＥＡＬＤｓ』集英社(集英社新書)2016
たわしの読書メモ・・ブログ 357
・米村健司『波・音・面―廣松渉哲学の射程とその教育論』世界書院 2009
たわしの読書メモ・・ブログ 356
・SEALDs×上野千鶴子「上野千鶴子（社会学者）×福田和香子、奥田愛基、牛田悦正（SEALDs）対話」（at プラス web）2016
たわしの読書メモ・・ブログ 355
・石原慎太郎×斎藤環「『死』と睨み合って」(『文学界 2016 年 10 月号』文芸春秋)
たわしの読書メモ・・ブログ 354
・仲川文江『生きて愛して―目で聞いたもうひとつのヒロシマ― 』ひろけん 1989

たわしの読書メモ・・ブログ 353
・全国被爆者青年同盟『君は明日生きるか 』破防法研究会 1972
たわしの読書メモ・・ブログ 352
・山崎吾郎『臓器移植の人類学―身体の贈与と情動の経済』世界思想社 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 351
・笠井潔×野間易通「革命とヤクザ」(『図書新聞 3271 号』2016.9.17 所収)

[60 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 350
・朝日新聞大阪社会部編『手記 被爆者たちの 40 年 』朝日新聞社 1986
たわしの読書メモ・・ブログ 349
・秋月辰一郎『死の同心円―長崎被爆医師の記録(長崎文献社名著復刻シリーズ 2)』長崎文献社 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 348
・広島市長崎市原爆被害誌編集委員会『原爆災害－ヒロシマ・ナガサキ 』岩波書店(岩波現代文庫)2005
たわしの読書メモ・・ブログ 347
・大江健三郎『ヒロシマ・ノート 』岩波書店(岩波新書)1965
たわしの読書メモ・・ブログ 346
・スベトラーナ・アレクシエービッチ／松本妙子訳『チェルノブイリの祈り――未来の物語 』岩波書店(岩波現代文庫)2011

[59 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 345
・高木仁三郎／マイケル・シュナイダーほか『MOX(プルトニウム燃料)総合評価―IMA(国際 MOX 燃料評価)プロジェクト最終報告』「要約報告書」七つ森書館 1998
たわしの読書メモ・・ブログ 344
・鎌田慧『六ヶ所村の記録――核燃料サイクル基地の素顔(上)(下)』岩波書店(岩波現代文庫)2011
たわしの読書メモ・・ブログ 343
・広瀬隆『原発処分先進国ドイツの現実: 地底 1000 メートルの核ゴミ地獄』五月書房)2014
たわしの読書メモ・・ブログ 342
・本間龍『原発プロパガンダ』岩波書店(岩波新書)2016
たわしの読書メモ・・ブログ 341
・山秋真『原発をつくらせない人びと――祝島から未来へ』岩波書店(岩波新書)2012

[58 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 340
・関西学院大学災害復興制度研究所／福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク／東日本大震災支援全国ネットワーク編『原発避難白書』人文書院 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 339
・池田実『福島原発作業員の記』八月書館 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 338
・日野行介『原発棄民　フクシマ 5 年後の真実』毎日新聞出版 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 337
・針谷勉『原発一揆~警戒区域で闘い続ける“ベコ屋”の記録』サイゾー2012
たわしの読書メモ・・ブログ 336
・広河隆一『チェルノブイリから広島へ』岩波ジュニア新書（岩波書店）1995
たわしの読書メモ・・ブログ 335
・広河隆一『チェルノブイリ報告』岩波新書（岩波書店）1991
たわしの読書メモ・・ブログ 334
・堀利和『共生社会論―障がい者が解く「共生の遺伝子」説』現代書館　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 333
・堀利和編・著『障害者が労働力商品を止揚したいわけ - きらない わけない ともにはたらく（SQ 選書 04)』社会評論社　2015
たわしの読書メモ・・ブログ 332
・『季刊福祉労働 133　特集　障害者差別禁止法・条例づくりの動向』現代書館　2011

[57 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 331
・ケヴィン・B・アンダーソン／平子 友長・明石 英人・佐々木 隆治・斎藤 幸平・隅田 聡一郎訳『周縁のマルクス―ナショナリズム、エスニシティおよび非西洋社会について』社会評論社 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 330
・小林哲夫『反安保法制・反原発運動で出現――シニア左翼とは何か（朝日新書)』朝日新聞出版 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 329
・討議-小熊英二×ミサオ・レッドウルフ×奥田愛基「<官邸前>から<国会前>へ」
（『現代思想 2016 年 3 月号 特集=3・11 以後の社会運動』青土社 2016　所収）
たわしの読書メモ・・ブログ 328
・福本英子「ヒト iPS 細胞は何をしたのか」(『季刊福祉労働 135』『季刊福祉労働 139』『季刊福祉労働 141』『季刊福祉労働 142』現代書館 2012-2014
たわしの読書メモ・・ブログ 327

・公開インタビュー「人工呼吸器をつけた子の親の会＜パクパクの会＞の成り立ちと現在」（『季刊福祉労働 133』『季刊福祉労働 134』現代書館　2011-2012）
たわしの読書メモ・・ブログ 326
・『季刊福祉労働 139 特集:障害者総合支援法スタート』現代書館 2013

[56 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 325
・『季刊 福祉労働 149 号 特集: 特集:権利条約・差別解消法ガイドラインから見る障害者政策の課題』現代書館 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 324
・岡野雄一『みつえばあちゃんとボク』西日本新聞社 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 323
・岡野雄一『ペコロスの母の贈り物』朝日新聞出版 2016
たわしの読書メモ・・ブログ 322
・『季刊 福祉労働 140 号　特集:増やされる「発達障害」』現代書館 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 321
・『季刊 福祉労働 148 号 特集: 「戦争できる国づくり」への国民再統合――教育・医療・福祉・司法に見る』現代書館 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 320
・立命館大学生存学研究センター編『生存学　vol.8―生きて存るを学ぶ 巻頭特集:看護 特集:吃音/ろう クリエイティブ母』生活書院 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 319
・渡辺克典「あいまいな吃音の諸相」
・氏平明「吃音の言語学的・音声学的特質」
（立命館大学生存学研究センター編『生存学　vol.8 特集 1:吃音／ろう』生活書院 2015）
たわしの読書メモ・・ブログ 318
・『季刊　福祉労働 147 号 特集：2015 年度安倍政権の社会保障予算をどう読むか』現代書館 2015

[55 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 317
・寺本晃久/岡部耕典/末永弘/岩橋誠治『ズレてる支援!――知的障害/自閉の人たちの自立生活と重度訪問介護の対象拡大』生活書院　2015
たわしの読書メモ・・ブログ 316
・石川憲彦『子育ての社会学』朝日新聞社(朝日文庫)1990
たわしの読書メモ・・ブログ 315

・石川憲彦『影と向きあう教育と治療』光村図書(朝日カルチャー叢書 (018))1984
たわしの読書メモ・・ブログ 314
・金満里『生きることのはじまり』筑摩書房(ちくまプリマーブックス)1996
たわしの読書メモ・・ブログ 313
・高草木光一編・著『思想としての「医学概論」――いま「いのち」とどう向き合うか』岩波書店 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 312
・栃島次郎『生命科学の欲望と倫理 -科学と社会の関係を問い直す-』青土社 2014

[54 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 311
・松尾匡『ケインズの逆襲、ハイエクの慧眼』PHP 研究所(PHP 新書)2014
たわしの読書メモ・・ブログ 310
・石川憲彦『治療という幻想―障害の医療からみえること』現代書館 1988
たわしの読書メモ・・ブログ 309
・早川一光／立岩真也／西沢いずみ『わらじ医者の来た道 -民主的医療現代史-』青土社 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 308
・早川一光『わらじ医者京日記―ボケを看つめて)』ミネルヴァ書房 1979
『続 わらじ医者京日記』ミネルヴァ書房 1980
たわしの読書メモ・・ブログ 307
・山口研一郎編・著『生命(いのち)―人体リサイクル時代を迎えて』緑風出版 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 306
・山口研一郎編・著『操られる生と死―生命の誕生から終焉まで』小学館 1998
たわしの読書メモ・・ブログ 305
・山口研一郎『生命をもてあそぶ現代の医療』社会評論社 1995
たわしの読書メモ・・ブログ 304
・明日川融『沖縄基地問題の歴史―非武の島、戦の島』みすず書房 2008
たわしの読書メモ・・ブログ 303
・服部茂幸『アベノミクスの終焉』岩波新書（岩波書店）2014

[53 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 302
・小倉志郎『元原発技術者が伝えたいほんとうの怖さ』彩流社 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 301
・山田太郎「原発並べて自衛戦争はできない」(「リプレーザ」No.3　2007.7 抜刷）2011
たわしの読書メモ・・ブログ 300

・水野和夫『資本主義の終焉と歴史の危機』集英社(集英社新書)2014
たわしの読書メモ・・ブログ 299 （「通信」未掲載）
・水谷保孝／岸宏一『革共同政治局の敗北 1975～2014　あるいは中核派の崩壊』白順社 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 298
・中村暁美『長期脳死 娘、有里と生きた 1 年 9 ヶ月』岩波書店 2009
たわしの読書メモ・・ブログ 297
・青田由幸／八幡隆司『原発震災、障害者は… ―消えた被災者―』解放出版社 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 296
・三上智恵『戦場ぬ止み(いくさばぬとぅどぅみ): 辺野古・高江からの祈り』大月書店 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 295
・添田孝史『原発と大津波 警告を葬った人々』岩波新書（岩波書店）2014

[52 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 294
・上野千鶴子『ケアのカリスマたち――看取りを支えるプロフェッショナル』亜紀書房 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 293
・野村保子『大間原発と日本の未来』寿郎社 2015
たわしの読書メモ・・ブログ 292
・山口研一郎／編・著『国策と犠牲 ―原爆、原発 そして現代医療のゆくえ』社会評論社 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 291
・海渡雄一『原発訴訟』岩波新書（岩波書店）2011
たわしの読書メモ・・ブログ 290
・押見 修造『志乃ちゃんは自分の名前が言えない』太田出版 2012

[51 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 289
・塩谷弘康／　岩崎由美子『食と農でつなぐ――福島から』岩波書店（岩波新書）2014
たわしの読書メモ・・ブログ 288
・すぎむらなおみ＋えすけん『はなそうよ！　恋とエッチ――みつけよう！　からだときもち』生活書院 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 287
・ねじめ正一『認知の母にキッスされ』中央公論新社 2014
『おふくろ八十六、おれ還暦』中央公論新社(中公文庫)2014
『二十三年介護』新潮社(新潮文庫)2003
たわしの読書メモ・・ブログ 286

・千葉悦子／松野光伸『飯舘村は負けない――土と人の未来のために』岩波新書（岩波書店）2012

たわしの読書メモ・・ブログ 285

・広河隆一『福島 原発と人びと』岩波新書（岩波書店）2011

[50 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 284

・日野行介『福島原発事故 被災者支援政策の欺瞞』岩波新書（岩波書店）2014

たわしの読書メモ・・ブログ 283

・日野行介『福島原発事故 県民健康管理調査の闇』岩波新書（岩波書店）2013

たわしの読書メモ・・ブログ 282

・立岩真也「素朴唯物論を支持する」（『現代思想 2013 年 1 月号 特集=現代思想の総展望』青土社 2013　連載「家族・性・市場」第八五回）

たわしの読書メモ・・ブログ 281

・立岩真也『私的所有論 第 2 版』生活書院 2013

たわしの読書メモ・・ブログ 280

・定籐邦子『関西障害者運動の現代史―大阪青い芝の会を中心に』生活書院 2011

たわしの読書メモ・・ブログ 279

・岡野雄一『ボケて幸せな生き方: 「ペコロスの母」に学ぶ』小学館新書 2014

たわしの読書メモ・・ブログ 278

・深田耕一郎『福祉と贈与―全身性障害者・新田勲と介護者たち』生活書院 2013

[49 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 277

・山崎光祥『子を看るとき、子を看取るとき――沈黙の命に寄り添って』岩波書店 2014

たわしの読書メモ・・ブログ 276

・新田 勲『足文字は叫ぶ！―全身性重度障害者のいのちの保障を』現代書館 2009

たわしの読書メモ・・ブログ 275

・中西正司『自立生活運動史―社会変革の戦略と戦術』現代書館 2014

[48 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 274

・吉田憲夫「廣松渉氏の「貨幣生成論」について」（『情況 2014 年 9・10 月合併号』所収情況出版）

たわしの読書メモ・・ブログ 273

・張一兵「廣松渉の物象化パラダイムの起源―『物象化論の構図』の構造環境論による解説」

（『情況 2014 年 9・10 月合併号』所収　情況出版）

たわしの読書メモ・・ブログ 272

・浅野詠子『ルポ 刑期なき収容―医療観察法という社会防衛体制』現代書館 2014

たわしの読書メモ・・ブログ 271

・師岡康子『ヘイト・スピーチとは何か』岩波書店(岩波新書)2013

たわしの読書メモ・・ブログ 270

・岡野雄一『ペコロスの母の玉手箱』朝日新聞出版 2014

たわしの読書メモ・・ブログ 269

・秦郁彦『南京事件―「虐殺」の構造』中央公論新社(中公新書)2007

[47 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 268

・石川逸子『「従軍慰安婦」にされた少女たち』岩波書店(岩波ジュニア新書)1993

たわしの読書メモ・・ブログ 267

・「戦争と女性への暴力」リサーチアクションセンター・編『「慰安婦」バッシングを越えて:「河野談話」と日本の責任』大月書店 2013

たわしの読書メモ・・ブログ 266

・SAPIO 編集部・編『日本人が知っておくべき「慰安婦」の真実』小学館 2013

たわしの読書メモ・・ブログ 265

・吉見義明『従軍慰安婦』岩波書店(岩波新書)1995

たわしの読書メモ・・ブログ 264

・秦郁彦『慰安婦と戦場の性』新潮社(新潮選書)1999

たわしの読書メモ・・ブログ 263

・杉本章『障害者はどう生きてきたか―戦前・戦後障害者運動史』現代書館 2008

たわしの読書メモ・・ブログ 262

・三好春樹『関係障害論』雲母書房 1997

たわしの読書メモ・・ブログ 261

・ミッシェル・フーコー／神谷美恵子訳『臨床医学の誕生』みすず書房 1969

たわしの読書メモ・・ブログ 260

・小泉義之『病いの哲学』ちくま新書 2006

たわしの読書メモ・・ブログ 259

・大島一洋『介護はつらいよ』小学館 2014

たわしの読書メモ・・ブログ 258

・朝霧裕『バリアフリーのその先へ！――車いすの 3・11』岩波書店 2014

たわしの読書メモ・・ブログ 257

・遠山真世／二本柳覚／鈴木裕介『これならわかる<スッキリ図解>障害者総合支援法』翔

泳社 2014

[46 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 256
・川越敏司／川島聡／星加良司『障害学のリハビリテーション―障害の社会モデルその射程と限界』生活書院 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 255
・渡邉琢『介助者たちは、どう生きていくのか―障害者の地域自立生活と介助という営み』生活書院 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 254
・六車由美『驚きの介護民俗学』医学書院 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 253
・すぎむらなおみ『養護教諭の社会学―学校文化・ジェンダー・同化』名古屋大学出版会 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 252
・イヴァン・イリッチ／金子嗣郎訳『脱病院化社会―医療の限界』晶文社 1979

[45 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 251
・天野正子『<老いがい>の時代――日本映画に読む』岩波新書 2014
たわしの読書メモ・・ブログ 250
・中島みち『「尊厳死」に尊厳はあるか―ある呼吸器外し事件から』岩波新書 2007
たわしの読書メモ・・ブログ 249
・児玉真美『私は私らしい障害児の親でいい』ぶどう社 1998
たわしの読書メモ・・ブログ 248
・天田城介『老い衰えゆくことの発見』 角川学芸出版 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 247
・立岩真也『唯の生』筑摩書房 2009
たわしの読書メモ・・ブログ 246
・『現代思想 2012 年 6 月号 特集=尊厳死は誰のものか 終末期医療のリアル』青土社 2013

[44 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 245
・熊谷 晋一郎『リハビリの夜』医学書院 2009
たわしの読書メモ・・ブログ 244
・後藤猛『認知症の人が安楽死する国』雲母書房 2012

たわしの読書メモ・・ブログ 243
・児玉真美『海のいる風景―重症心身障害のある子どもの親であるということ』生活書院 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 242
・児玉真美『死の自己決定権のゆくえ: 尊厳死・「無益な治療」論・臓器移植』大月書店 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 241
・相川 祐里奈『避難弱者: あの日、福島原発間近の老人ホームで何が起きたのか?』東洋経済新報社 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 240
・児玉真美『アシュリー事件―メディカル・コントロールと新・優生思想の時代』生活書院 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 239
・向谷地生良／伊藤伸二『吃音の当事者研究: どもる人たちが「べてるの家」と出会った』金子書房 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 238
・村上 靖彦『摘便とお花見: 看護の語りの現象学』医学書院 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 237
・『現代思想 2013 年 8 月号 特集=看護のチカラ “未来”にかかわるケアのかたち』青土社 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 236
・『季刊みみ 141 特集:罪に問われたろう者の支援』全日本ろうあ連盟 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 235
・『インパクション 189 特集:「アベノミクス」と「ハシズム」』インパクト出版会 2013

[43 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 234
・『情況 2013 年 5・6 月号 特集アベノミクス・自民党憲法草案批判、資本論を読み解く、労働運動が直面する課題』情況出版 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 233
・『障害学研究 9』明石書店 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 232
・鈴木文治『ホームレス障害者: 彼らを路上に追いやるもの』日本評論社 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 231
・西村理佐『長期脳死の愛娘とのバラ色在宅生活 ほのさんのいのちを知って』エンターブレイン 2010

[42 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 230
・秋風千恵『軽度障害の社会学:「異化&統合」をめざして』ハーベスト社 2013
たわしの読書メモ・・ブログ 229
・小松美彦『生権力の歴史―脳死・尊厳死・人間の尊厳をめぐって』青土社 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 228
・熊谷徹『脱原発を決めたドイツの挑戦　再生可能エネルギー大国への道』角川 SSC 新書(角川マガジンズ)2012
たわしの読書メモ・・ブログ 227
・天笠啓祐『この国のミライ図を描こう―原発とグローバリズムが無理なわけ』現代書館 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 226
・大今良時「聲の形」(『週刊少年マガジン 2013 年 3/6 号』講談社)
たわしの読書メモ・・ブログ 225
・岡野雄一『ペコロスの母に会いに行く』西日本新聞社 2012

[41 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 224
・柘植あづみ『生殖技術――不妊治療と再生医療は社会に何をもたらすか』みすず書房 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 223
・福本英子『人・資源化への危険な坂道―ヒトゲノム解析・クローン・ES 細胞・遺伝子治療』現代書館 2002
たわしの読書メモ・・ブログ 222
・宮崎学／小林健治『橋下徹現象と部落差別』にんげん出版（新書）2012
たわしの読書メモ・・ブログ 221
・大島堅一『原発のコスト――エネルギー転換への視点』岩波新書（岩波書店）

[40 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 220
・アントニオ・グラムシ／松田博編訳『歴史の周辺にて「サバルタンノート」注解』明石書店 2011（グラムシ『獄中ノート』著作集Ⅶ）
たわしの読書メモ・・ブログ 219
・崎山政毅『サバルタンと歴史』青土社 2001
たわしの読書メモ・・ブログ 218
・G.C. スピヴァク『ポストコロニアル理性批判―消え去りゆく現在の歴史のために』月曜社 2003

[39 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 217
・五木寛之『私訳 歎異抄』東京書籍 2007
たわしの読書メモ・・ブログ 216
・荒井裕樹『障害と文学―「しののめ」から「青い芝の会」へ』現代書館 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 215
・『季刊福祉労働 136　特集　障害者虐待防止法と権利擁護』現代書館 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 214
・『情況 2012 年 06 月号 3.11 福島集会から 4 月再稼働阻止の闘い、沖縄、経済特集』情況出版 2012
・『情況 2012 年 08 月号 放射能汚染特集』情況出版 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 213
・『障害学研究 8』明石書店 2012

[38 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 212
・G.C.スピヴァク『デリダ論―『グラマトロジーについて』英訳版序文』平凡社(平凡社ライブラリー)2005
たわしの読書メモ・・ブログ 211
・『現代思想 1999 年 7 月号 特集=スピヴァク』青土社 1999

[37 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 210
・『季刊福祉労働 135　特集　東日本大震災と障害者』現代書館 2012　その②
たわしの読書メモ・・ブログ 209
・『季刊福祉労働 135　特集　東日本大震災と障害者』現代書館 2012　その①
たわしの読書メモ・・ブログ 208
・G.C. スピヴァク『サバルタンは語ることができるか』みすず書房 1998

[36 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 207
・バンジャマン・ドゥスュ／ベルナール・ラポンシュ『フランス発「脱原発」革命―原発大国、エネルギー転換へのシナリオ―』明石書店 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 206
・佐々木隆治『マルクスの物象化論　資本主義批判としての素材の思想』社会評論社 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 205
・菊池良和『エビデンスに基づいた吃音支援入門』学苑社かもがわ 2012

たわしの読書メモ・・ブログ 204
・山口昌子『原発大国フランスからの警告』ワニ・ブックス 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 203
・クリスティーン・ブライデン『私は私になっていく―痴呆とダンスを』クリエイツかもがわ 2004
たわしの読書メモ・・ブログ 202
・クリスティーン・ボーデン『私は誰になっていくの？―アルツハイマー病者からみた世界』クリエイツかもがわ 2003

[35 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 201
・小澤勲／土本亜理子『物語としての痴呆ケア』三輪書店 2004
たわしの読書メモ・・ブログ 200
・小澤勲『痴呆老人からみた世界』岩崎学術出版社 1998
たわしの読書メモ・・ブログ 198・199
・小澤勲『痴呆を生きるということ』岩波書店（岩波新書)2003
・小澤勲『認知症とは何か』岩波書店（岩波新書)2005

[34 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 197
・小澤勲『ケアってなんだろう』医学書院 2006
たわしの読書メモ・・ブログ 196
・『情況 2012 年 03・04 月号 [雑誌]特集;激動するアフリカ　福島第一原発３・11 事故一年』情況出版 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 195
・上野千鶴子／中西正司編『ニーズ中心の福祉社会へ―当事者主権の次世代福祉戦略』医学書院 2008
たわしの読書メモ・・ブログ 194
・『情況 2012 年 01・02 月号 特集　脱原発運動　福島・ドイツ・経産省前テント村』情況出版 2012
たわしの読書メモ・・ブログ 193
・立岩真也『家族性分業論前哨』生活書院 2011

[33 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 192
・上野千鶴子『ケアの社会学――当事者主権の福祉社会へ』太田出版 2011

たわしの読書メモ・・ブログ 191
・曽根英二『生涯被告「おっちゃん」の裁判 600 円が奪った 19 年』平凡社 2010

[32 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 190
・高木仁三郎『高木仁三郎著作集第 7 巻　市民科学者として生きるⅠ』七つ森書館 2002
たわしの読書メモ・・ブログ 189
・佐々木力「ベイコン主義自然哲学の黄昏」(『思想 2011 年 11 月号』岩波書店 2011 所収)
たわしの読書メモ・・ブログ 188
・『現代思想 2011 年 12 月号　特集=危機の大学』青土社　2011
　野家啓一「大学と科学者の社会的責任」／最首悟「マイナスとゼロ」
たわしの読書メモ・・ブログ 187
・フィリップ・ピニャール／杉村昌昭訳『反資本主義宣言―フランス NPA の挑戦』柘植書房新社　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 186
・高木仁三郎『宮澤賢治をめぐる冒険―水や光や風のエコロジー（新装版)』七つ森書館 2011(1995)
たわしの読書メモ・・ブログ 185
・小出裕章『原発のない世界へ』筑摩書房　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 184
・小出裕章『放射能汚染の現実を超えて』河出書房新社　2011

[31 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 183
・レイチェル・カーソン『沈黙の春』新潮社（新潮文庫）　1974
たわしの読書メモ・・ブログ 182
・シーア・コルボーン/ダイアン・ダマノスキ/ジョン・ピーターソン・マイヤーズ『奪われし未来　増補新装版』翔泳社　2001
たわしの読書メモ・・ブログ 181
インターネットから「障害の社会モデル」批判に関する論攷
たわしの読書メモ・・ブログ 180
・広瀬隆『新エネルギーが世界を変える―原子力産業の終焉』NHK 出版　2011

[30 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 179
・『現代思想 2011 年 10 月号　特集=反原発の思想』青土社 2011

たわしの読書メモ・・ブログ 178
・『情況 2011 年 09 月号 [雑誌]特集　原子力・エネルギー政策の基本方向―沖縄･福島・朝鮮』情況出版 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 177
・高木仁三郎／渡辺美紀子『食卓にあがった放射能』七つ森書館　2011（1990）
たわしの読書メモ・・ブログ 176
・八木正『原発は差別で動く―反原発のもうひとつの視角 新装版』明石書店 1989(2011)
たわしの読書メモ・・ブログ 175
・丸山正樹『デフ・ヴォイス』文藝春秋 2011

[29 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 174
・中川 明『「原則統合」への道すじを探るⅢ　《憲法 26 条にいう「能力に応じて」と「普通教育義務」とは?》』「障害児を普通学校へ・全国連絡会」制作編集(ブックレット・・なぜこの学校に行けないの?⑯)1999
たわしの読書メモ・・ブログ 173
・『季刊福祉労働 130　特集　今、地域で共に学び・生きる運動は』現代書館 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 172
・玉野井芳郎『エコノミーとエコロジー』みすず書房 2002(1978)
たわしの読書メモ・・ブログ 171
・広重徹『近代科学再考』朝日新聞社（朝日選書）1979
たわしの読書メモ・・ブログ 170
・高木仁三郎『巨大事故の時代』弘文堂 1989
たわしの読書メモ・・ブログ 169
・広瀬隆『二酸化炭素温暖化説の崩壊』集英社(集英社新書)2010
たわしの読書メモ・・ブログ 168
・堀江邦夫『原発ジプシー 増補改訂版　―被曝下請け労働者の記録』現代書館 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 167
・『季刊福祉労働 131　特集拡大する相談・支援事業の実相』現代書館 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 166
・『情況 2011 年 07 月号 [雑誌]特集　福島第一原発　中国特集』情況出版 2011

[28 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 165
・『現代思想 2011 年 5 月号　特集=東日本大震災　危機を生きる思想』青土社 2011
たわしの読書メモ・・ブログ 164

・高木仁三郎『原子力神話からの解放　－日本を滅ぼす九つの呪縛』講談社(講談社+アルファ文庫)　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 163
・鎌田慧『原発暴走列島』アストラ　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 162
・広瀬隆『FUKUSHIMA 福島原発メルトダウン』朝日新聞出版（朝日新書）　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 161
・障害学研究編集委員会編『障害学研究７』②明石書店　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 160
・廣松渉『生態史観と唯物史観』ユニテ　1986
たわしの読書メモ・・ブログ 159
・障害学研究編集委員会編『障害学研究７』①明石書店　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 158
・アルフレート・シュミット『マルクスの自然概念』法政大学出版局　1972
たわしの読書メモ・・ブログ 157
・島崎隆『エコマルクス主義―環境論的転回を目指して』知泉書館　2007
たわしの読書メモ・・ブログ 156
・早稲田 聡『図解 新エネルギー早わかり』中経出版　2011
たわしの読書メモ・・ブログ 155
・高木仁三郎『市民科学者として生きる』岩波書店（岩波新書）　1999
たわしの読書メモ・・ブログ 154
・高木仁三郎『市民の科学をめざして』朝日新聞社（朝日選書）　1999

[27 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 153
・高木仁三郎『人間の顔をした科学』七つ森書館　2001
たわしの読書メモ・・ブログ 152
・高木仁三郎『原発事故はなぜくりかえすのか』岩波新書　2000
たわしの読書メモ・・ブログ 151
・高木仁三郎『プルトニウムの恐怖』岩波新書　1981
たわしの読書メモ・・ブログ 150
・高木仁三郎『核の世紀末―来るべき世界への構想力』農山漁村文化協会　1991
たわしの読書メモ・・ブログ 149
・高木仁三郎『チェルノブイリ―最後の警告』七つ森書館　1986
たわしの読書メモ・・ブログ 148
・『情況 2011 年４・５月号 [雑誌]特集福島原発の大事故』情況出版 2011

たわしの読書メモ・・ブログ 147
・高木仁三郎『いま自然をどうみるか（増補新版)』白水社　1998
たわしの読書メモ・・ブログ 146
・菊地夏野『ポストコロニアリズムとジェンダー』青弓社 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 145
・デビー・ネイサン／沢田博訳『１冊で知る　ポルノ』原書房 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 144
・『情況　2010 年　10 月号　[雑誌]特集現代中国論』情況出版 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 143
・すぎむらなおみ『エッチのまわりにあるもの―保健室の社会学―』解放出版社 2011
『図書新聞』3022 号（11.7.16）に書評掲載
たわしの読書メモ・・ブログ 142
・高森明他『私たち、発達障害と生きてます―出会い、そして再生へ』ぶどう社 2008
たわしの読書メモ・・ブログ 141
・高森明『漂流する発達障害の若者たち―開かれたセイフティーネット社会を』ぶどう社 2010

[26 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 140
・高森明『アスペルガー当事者が語る特別支援教育―スロー・ランナーのすすめ』金子書房 2007
たわしの読書メモ・・ブログ 139
・『季刊福祉労働　129　特集　検証・障害者制度改革』　現代書館 2010
たわしの読書メモ・・ブログ 138
・かどや　ひでのり/あべ　やすし編著『識字の言語社会学』生活書院　2010
『図書新聞』3004 号（11.3.5）に書評掲載
たわしの読書メモ・・ブログ 137
・ジョン　スウェイン他(編著者)『イギリス障害学の理論と経験―障害者の自立に向けた社会モデルの実践―』明石書店　2010　その⑤
『図書新聞』3011 号（11.4.23）にもとめたものを書評掲載
たわしの読書メモ・・ブログ 136
・ジョン　スウェイン他(編著者)『イギリス障害学の理論と経験―障害者の自立に向けた社会モデルの実践―』明石書店　2010　その④
たわしの読書メモ・・ブログ 135
・ジョン　スウェイン他(編著者)『イギリス障害学の理論と経験―障害者の自立に向けた社会モデルの実践―』明石書店　2010　その③

たわしの読書メモ・・ブログ 134
・ジョン スウェイン他(編著者)『イギリス障害学の理論と経験―障害者の自立に向けた社会モデルの実践―』明石書店　2010　その②
たわしの読書メモ・・ブログ 133
・ジョン スウェイン/サリー・フレンチ/コリン・バーンズ/キャロル・トーマス編著『イギリス障害学の理論と経験―障害者の自立に向けた社会モデルの実践―』明石書店　2010　その①

[25 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 132
・『障害学研究　6』障害学会(明石書店)　2010
たわしの読書メモ・・ブログ 131
・『情況 2011 年 01 月号 [雑誌]特集:日本人にとって尖閣列島＝釣魚島とは何か』情況出版
たわしの読書メモ・・ブログ 130
・嶋田 泰子 作/内藤　裕 写真『いっしょがいいな障がいの絵本２　おしゃべり、だいすき耳の聞こえないひと』ポプラ社　2006
・嶋田 泰子 文/岡本　順 絵『いっしょがいいな障がいの絵本６　ぼくって、ふしぎくん？発達の障がい　ＡＤＨＤ』ポプラ社　2006
たわしの読書メモ・・ブログ 129
・得永幸子『「病い」の存在論』地湧社 1984
たわしの読書メモ・・ブログ 128
・H.T. エンゲルハート/H. ヨナスほか著／加藤尚武/飯田亘之編『バイオエシックスの基礎―欧米の「生命倫理」論』東海大学出版会　1988
たわしの読書メモ・・ブログ 127
・小松 美彦『黄昏の哲学―脳死臓器移植・原発・ダイオキシン』河出書房新社　2000
たわしの読書メモ・・ブログ 126
・小松 美彦『自己決定権は幻想である』　洋泉社新書　2004
たわしの読書メモ・・ブログ 125
・小松 美彦『脳死・臓器移植の本当の話』ＰＨＰ新書　2004
たわしの読書メモ・・ブログ 124
・小松 美彦『死は共鳴する―脳死・臓器移植の深みへ』勁草書房　1996
たわしの読書メモ・・ブログ 123
・さとう けいこ文／さわだ としきイラスト『ではなそう きらきら』小学館　2002
・フランツ=ヨーゼフ ファイニク作／フェレーナ バルハウス絵『わたしたち手で話します』あかね書房　2006
・フランツ=ヨーゼフ ファイニク作／フェレーナ バルハウス絵『わたしの足は車いす』

あかね書房　2006

・たばた　せいいち『さっちゃんの まほうのて』偕成社　1985

たわしの読書メモ・・ブログ 122　（「通信」未掲載）（ブログ遅れて掲載）

・杉村直美「高校生と共有できる「性暴力」の定義を求めて」（『女性学年報』voi.25　2004 所収）

たわしの読書メモ・・ブログ 121

・田中美津『増補新装版　いのちの女たちへ－とり乱しウーマン・リブ論』現代書館　2004

たわしの読書メモ・・ブログ 120

・角岡伸彦『カニは横に歩く　自立障害者たちの半世紀』講談社　2010

[24 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 119

・倉本智明編『手招くフリーク―文化と表現の障害学』生活書院　2010

たわしの読書メモ・・ブログ 118

・スラヴォイ・ジジェク『ポストモダンの共産主義－はじめは悲劇として、二度めは笑劇として』ちくま新書　2010

たわしの読書メモ・・ブログ 117

・好井裕明『差別原論―“わたし”のなかの権力とつきあう』平凡社新書　2007

たわしの読書メモ・・ブログ 116

・佐藤裕『差別論－偏見理論批判－』明石書店　2005

たわしの読書メモ・・ブログ 115

・P・ブルデュー＋今村仁司＋廣松渉「理性の現実政治のために」（『現代思想 1990.3』青土
社所収）

たわしの読書メモ・・ブログ 114

・石井洋二郎『差異と欲望―ブルデュー『ディスタンクシオン』を読む』藤原書店　1993

[23 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 113

・勝守　真『現代日本哲学への問い―「われわれ」とそのかなた』勁草書房　　2009

たわしの読書メモ・・ブログ 112

・真田哲也「マルクスの実体概念と物象化論」北樹出版（『社会思想史研究』NO.9 所収）　1985

たわしの読書メモ・・ブログ 111

・野家 啓一『増補 科学の解釈学』筑摩書房（ちくま学芸文庫）　2007

たわしの読書メモ・・ブログ 110

・ばばこういち／安藤千賀『ＵＤ革命―思いやりの復権』リベルタ出版　2008
たわしの読書メモ・・ブログ 109
・藤澤和子／服部敦司法『LL ブックを届ける―やさしく読める本を知的障害・自閉症のある読者へ』読書工房　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 108
・竹内章郎『いのちの平等論―現代の優生思想に抗して』岩波書店　2005

[22 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 107
・後藤好吉彦『身体の社会学のブレークスルー―差異の政治から普遍性の政治へ』生活書院　2007
たわしの読書メモ・・ブログ 106
・『情況 2010 年 07 月号 [雑誌]特集　沖縄の歴史と闘い　障害者解放運動の今』情況出版　2010
たわしの読書メモ・・ブログ 105
・橘木 俊詔／山森　亮『貧困を救うのは、社会保障改革か、ベーシック・インカムか』人文書院　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 104
・『現代思想 2010 年 3 月号 特集=医療現場への問い 医療・福祉の転換点で』青土社　2010
たわしの読書メモ・・ブログ 103
・山森亮『ベーシック・インカム入門』光文社新書　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 102
・『現代思想 2010 年 6 月号 特集=ベーシックインカム 要求者たち』青土社　2010
たわしの読書メモ・・ブログ 101
・廣松渉『廣松渉マルクスと哲学を語る―単行本未収録講演集』河合文化教育研究所　2010
たわしの読書メモ・・ブログ 100
・マルクス（望月清司訳）『ゴータ綱領批判』岩波文庫　1975
たわしの読書メモ・・ブログ 99
・フェルディナント・テンニェス『ゲマインシャフトとゲゼルシャフト―純粋社会学の基本概念』理想社　1954
たわしの読書メモ・・ブログ 98
・マルセル　モース『贈与論』ちくま学芸文庫（筑摩書房）　2009
たわしの読書メモ・・ブログ 97
・ニキ　リンコ『スルーできない脳－自閉は脳の便秘です』生活書院　2008
たわしの読書メモ・・ブログ 96
・安積遊歩『いのちに贈る超自立論－すべてのからだは百点満点』太郎次郎者エディタス

2009

たわしの読書メモ・・ブログ 95

・立岩真也／斉藤拓『ベーシックインカム－分配する最小国家の可能性』青土社　2010

たわしの読書メモ・・ブログ 94

・浮ケ谷幸代『ケアと共同性の人類学－北海道浦河赤十字病院精神科から地域へ』生活書院　2009

たわしの読書メモ・・ブログ 93

・斉藤道雄『治りませんようにーべてるの家のいま』みすず書房　2010

たわしの読書メモ・・ブログ 92

・斉藤道雄『悩む力－べてるの家の人びと』みすず書房　2002

たわしの読書メモ・・ブログ 91

・向谷地生良『「べてるの家」から吹く風』いのちのことば社　2006

たわしの読書メモ・・ブログ 90

・倉本智明『だれか、ふつうを教えてくれ！』理論社　2006

たわしの読書メモ・・ブログ 89

・石川准『見えないものと見えるもの－社交とアシストの障害学』医学書院　2004

たわしの読書メモ・・ブログ 88

・石川准『アイデンティティ・ゲーム－存在証明の社会学』新評論　1992

たわしの読書メモ・・ブログ 87

・前田拓也『介助現場の社会学－身体障害者の自立生活と介助者のリアリティ』生活書院　2009

たわしの読書メモ・・ブログ 86

・障害学研究編集委員会『障害学研究５』障害学会（明石書店）　2009

たわしの読書メモ・・ブログ 85

・川口有美子『逝かない身体―ＡＬＳ的日常を生きる』医学書院　2009

たわしの読書メモ・・ブログ 84

・すぎむらなおみ＋「しーとん」『発達障害チェックシートできましたーがっこうの　まいにちを　ゆらす・ずらす・つくる』生活書院　2009

書評を『図書新聞』2972 号　2010.7.3　に掲載

たわしの読書メモ・・ブログ 83

・大熊一夫『精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本』岩波書店　2009

たわしの読書メモ・・ブログ 82

・Ｒ．Ｄ．レイン『ひき裂かれた自己―分裂病と分裂病質の実存的研究』みすず書房　1971

[21 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 81

・D．クーパー『反精神医学』岩崎学術出版社　1974

たわしの読書メモ・・ブログ 80

・向谷地生良／浦河べてるの家『安心して絶望できる人生』生活人新書（日本放送出版協会）2006

たわしの読書メモ・・ブログ 79

・浦河べてるの家『べてるの家の「非」援助論―そのままでいいと思えるための 25 章』医学書院　2002

たわしの読書メモ・・ブログ 78

・浦河べてるの家『べてるの家の当事者研究』医学書院　2005

たわしの読書メモ・・ブログ 77

・川渕依子編『手話讃美―手話を守り抜いた高橋潔の信念－』サンライズ出版　2000

たわしの読書メモ・・ブログ 76

・亀井伸孝編『遊びの人類学ことはじめ―フィールドで出会った“子ども”たち』昭和堂 2009

たわしの読書メモ・・ブログ 75

・綾屋 紗月＋熊谷晋一郎『発達障害当事者研究―ゆっくりていねいにつながりたい』医学書院 2008

たわしの読書メモ・・ブログ 74

・向谷地 生良『べてるな人びと 第 1 集』人麦出版社 2008

たわしの読書メモ・・ブログ 73

・廣松渉「精神の間主体的存在構造―「精神異常」の存立構制の定位のために―」

・鼎談 木村敏／廣松渉／中川久定「自己・役割・他者」（『思想 1983.2』所収）

たわしの読書メモ・・ブログ 72

・亀井伸孝『手話の世界を訪ねよう』岩波ジュニア新書（岩波書店）2009

たわしの読書メモ・・ブログ 71

・廣松渉『フッサール現象学への視角』青土社　1994

たわしの読書メモ・・ブログ 70

・木村敏『時間と自己』中公新書（中央公論新社）　1982

[20 号]

たわしの読書メモ・・ブログ 69

・木村敏『異常の構造』講談社現代新書　1973

たわしの読書メモ・・ブログ 68

・木村敏『自分ということ』ちくま学芸文庫　2008

『あいだ』ちくま学芸文庫　2005

『分裂病と他者』ちくま学芸文庫　2007